



—海とともに歩んだ歴史—

海と千葉

令和元年度特別展

2020

1月15日(水) WED. ▶ 3月1日(日) SUN.

●開館時間

9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

●休館日

月曜日 (祝日・休日の場合は翌日) 2月25日(火)

会場：千葉市立郷土博物館

〒260-0856 千葉市中央区亥鼻 1-6-1

Tel: 043-222-8231 Fax: 043-225-7106

交通案内●JR 千葉駅下車 東口バスのりば⑦から、千葉大学病院行または南矢作行(千03、千03-1、千04)で「郷土博物館・千葉県文化会館」下車、徒歩3分●千葉モノレール「県庁前」下車、徒歩13分●JR 本千葉駅下車、徒歩15分

●関連イベント

①ワークショップ：【やき蛤体験】

◇2月8日(土)・15日(土) ◇10:00~12:00

②稲毛地区歴史散歩

◇2月2日(日)・22日(土) ◇13:00~16:00

③ギャラリートーク

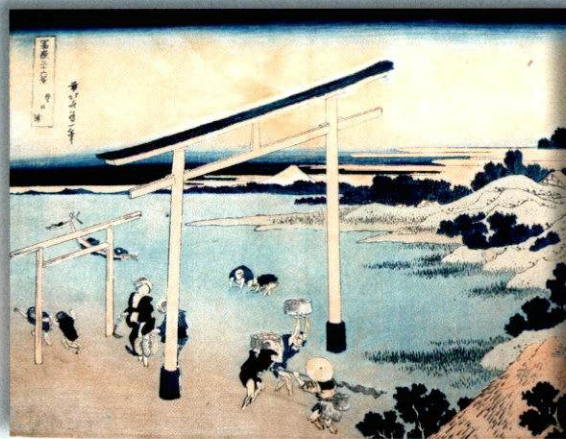
◇1月19日(日)・2月9日(日)・16日(日)
◇13:30~14:00

**入館
無料**



デザイン協力：千葉大学工学部デザイン文化計画研究室

郷土博物館 HP



葛飾北斎「富嶽三十六景 登戸浦」 当館蔵



飛行機（伊藤式恵美1型）模型
稲毛民間航空記念館蔵



佐倉藩士陣笠
個人蔵



五大力船模型
木更津市郷土博物館のすず蔵



ジョルジョ・ピゴ
「稲毛の夕焼け」
千葉県立美術館蔵



愛新覚羅溥傑
「重訪千葉海岸稲毛旧居有感」
当館蔵



海気館絵葉書 当館蔵

海と千葉

令和元年度特別展

「海とともに歩んだ歴史」

近世以降の千葉のまちは湊町として栄えました。江戸時代の千葉は、諸物の大消費地である江戸と房総を結ぶ重要拠点として栄えとともに、遠浅の海岸の豊かな漁場として、魚介類の名産地でした。また、近代においては、美しい海と松林が文人墨客に愛され、保養地として親しまれたほか、稲毛海岸は、民間航空発祥の地として、日本の航空史において重要な地位を占めました。

そして、現代では、埋立てにより日本一の人工海浜や都心部機能を持つとともに、全国2位の貨物取扱量を誇る港となっています。このように、古くから海は千葉市と深い関わりを持ち、今の我々が考える以上に豊かな歴史を有しています。本展では、近世以降の「海と千葉との関わり」をテーマに、海上交通、漁業、観光、民間航空及び埋立てに関わる多様な視点とそれを伝える資料を通じて、「海とともに歩むまち」千葉市の姿を紹介します。



松井天山「千葉県稲毛海水浴場鳥瞰」
(昭和2年7月) 市民ギャラリー・いなげ蔵

関連イベント

- ①ワークショップ
「やき蛤体験」 2月8日(土)・15日(土) 10:00~12:00
- ②稲毛地区歴史散歩 2月2日(日)・22日(土) 13:00~16:00
- ③ギャラリートーク 1月19日(日)・2月9日(日)・16日(日) 13:30~14:00

※ ①②は事前募集です。詳細は館HPをご覧ください。

千葉市立郷土博物館

〒260-0856 千葉市中央区亥鼻1-6-1 TEL 043-222-8231 HPアドレス http://www.city.chiba.jp/edi/kyodo/kyodo_top.html

